

令和8年5月19日



# 永福学園通信

第2号

東京都立永福学園  
統括校長 三浦 昭広

新しい環境で育くむ「安心」と「一歩踏み出す力」



肢体不自由教育部門副校長 松本 忍

新年度が始まり1か月が経ち、児童・生徒は入学・進級、新しい友達や教職員との出会いの中で、それぞれの歩みを進めています。環境の変化は、交流や経験が広がり、コミュニケーションの幅が増えたり、これまで気付かなかった自分の一面に出会えたりする成長の機会になります。一方で、慣れない生活や人間関係によって心身の疲れが出やすい時期でもあります。特に連休明けは、緊張がほどけた反動で、普段より疲れやすい、元気がない、食欲がない、朝起きづらい、学校の話が少なくなる等、小さな変化が見られることがあります。そうしたサインを大切にし、学校では教職員が児童・生徒の表情・言葉・行動に目を向け、日々の支援にあたっています。本校では、以下の3つの視点を大切に児童・生徒の健やかな心と体の成長を支えてまいります。

## 1 道徳教育の充実で「安心の土台」を育てます

道徳教育を学校全体で充実させ、日常生活の中で生きる力へとつなげていきます。今年度より、個別指導計画に道徳の項目を設け、児童・生徒の指導目標を明確に位置付けます。さらに、その目標に基づき、望ましい行動について児童・生徒自身が考えることを通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲や態度を育てていきます。教育活動全体を通し、学級活動や学校行事、日々の指導の中でも繰り返し取り上げ、安心できる学級づくりと、いじめ等の未然防止につなげていきます。

## 2 「SOSの出し方」を学校全体で指導します

「困ったときに信頼できる大人へSOSを出す力」と「それを受け止め、支える体制」を大切にしています。相談先を知り、状況に応じて相談できるよう計画的な指導を行うとともに、日々の関わりの中で“話しやすい大人”を増やしていきます。「相談すること」は自分を守り、次の一歩につなげる力です。

## 3 学校サポートチームで多面的に支援します

管理職をはじめ、保護者、生活指導担当者、養護教諭、臨床発達心理士、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、高井戸警察署スクールサポーター、学校医等が連携し、学校・家庭・地域・関係機関が一体となった児童・生徒の支援体制を整えています。

御家庭でも、睡眠・食事・休養のリズムを整えつつ、日々の小さな変化を共有していただければと思います。御家庭で気になることがありましたら、どうぞ遠慮なく学校まで御相談ください。学校は、児童・生徒が安心して過ごし、一歩踏み出せるよう、引き続き支えてまいります。



## 肢体不自由教育部門 新入生インタビュー



### 小学部1年

- ・新しい友達ができました。
- ・スクールバスに乗ることが好きです。
- ・学校探検、楽しいよ。
- ・図書室にも  
行ったよ。



### 中学部1年

- ・好きなことを増やします。
- ・部活動がんばります。
- ・数学をがんばりたい。
- ・作業学習が楽しい  
です。



### 高等部1年

- ・勉強を頑張っています。職業が楽しいです!
- ・体育が好きです!
- ・少しずつ慣れてきました。音楽が楽しいです!



## 就業技術科 東京ラリーを終えて

実際に東京の街を歩くことで 地域の歴史や文化に触れるとともに、公共の場でのルールやマナーを意識し、仲間と話し合いながら主体的に行動する力を養うことを目的として行われた東京ラリー。2・3年生の感想を一部御紹介いたします。

・朝起きて外を見たら遠足日和。(～中略～)まずは日本橋へ行き、記念写真を撮りました。箱根駅伝で見ていた場所を間近で見ることができて感動しました。旧安田庭園の池で好きなミシシippアカミミガメを見ることができて嬉しかったです。疲れはしましたが、最後までクラスの人と楽しく町の散策ができたので良かったです。



・(～中略～)記憶に残っていることの一つ目は、両国江戸 NOREN で外国の方がやっていた相撲です。それを見て「相撲は外国人にも人気なんだ」と感じました。今回のラリーはあまり疲れずに歩くことができました。体力がついたのかなあ。



・東京ラリーに参加できて良かったです。湯島天神、神田明神等の文化的な建造物を見ることができていい思い出に残るラリーでした。最後の東京ラリー、クラスメイトとたくさん会話ができて、最高の時間を過ごすことができました。

### [問合せ]

〒168-0064  
東京都杉並区永福1丁目7番28号  
電話 03-3323-1380

### 副校長

飯田 浩行 松本 忍 篠塚 奈緒子  
主幹教諭  
吉岡 美佳 池田 奈央子